

大阪公立大学共催講座のご案内

2024年度上期（5月～7月）

Kintetsu 近鉄文化サロン

5/25
(土)

10:30～12:00 近世大坂城定番屋敷の武士・奉公人

近世大坂城やその周辺には城代をトップとして定番・加番や大番衆など、大坂城の守衛を命じられた大名・旗本の屋敷が広がっていました。そこには、武士身分だけでなく、足軽や中間などの武家奉公人も多数存在していました。本講座では、17世紀の定番屋敷を取り上げ、大坂城周辺武家地の社会構造について紹介します。

【講師】大阪公立大学大学院 文学研究科 准教授 齊藤 紘子

6/8
(土)

10:30～12:00 江戸時代文化の魅力

江戸時代の美術作品、特に浮世絵版画の魅力についてお話しします。喜多川歌麿や東洲斎写楽、葛飾北斎、歌川広重。こうした浮世絵師たちの名前は、きっとご存知のことと思います。浮世絵版画の特徴は、お店で売られていた「商品」であったこと。それゆえ、浮世絵版画に描かれている事物は、その時代の流行を映し出します。浮世絵の流れを追いながら、江戸時代文化の魅力を堪能していただけたら、と願っています。

【講師】大阪公立大学大学院 文学研究科 教授 菅原 真弓

7/13
(土)

10:30～12:00 『御堂関白記』の世界

『御堂関白記』は、平安時代を代表する貴族である藤原道長の日記です。道長の日記は彼の子孫である近衛家の陽明文庫(京都市右京区)に伝来しました。ここに伝えられた日記のうち、おおよそ半分は道長自身が書き記したたいへん貴重な自筆日記です。こうしたことから、『御堂関白記』はユネスコの世界の記憶にも登録され、世界的にも注目されている史料です。

本講座では、この道長の日記の記事を具体的にとりあげて読解しながら、彼を取り巻く平安宮廷社会の実像にせまってみたいと思います。

【講師】大阪公立大学大学院 文学研究科 准教授 磐下 徹

【場 所】近鉄文化サロン阿倍野 【受講料】 各回 2,530円

WEBでご予約から入金までできるようになりました

お問い合わせは【近鉄文化サロン阿倍野】(06) 6625-1771

〒545-0052 大阪市阿倍野区阿倍野筋2-1-40and4階

【受付時間】10:00～19:00(日曜日10:00～16:00 但し、3月までは17:00まで)

※休業日:3/29(金)～3/31(日)、4/29(月・祝)～5/5(日・祝)は、受付業務を休ませていただきます

【受講お申込みは】

- 事前にご予約のうえ、実施日の5日前までにご入会手続きをお済ませください。
- 近鉄百貨店外商部お得意さま、KIPSクレジットカード会員さま、近鉄友の会会員さま、満65歳以上の方は会員価格でご受講いただけます。 ※受付にて会員手続きが必要です。
- 各講座とも満員になり次第締め切らせていただきます。
- ※ただし、一定の人数に満たない場合は、講座を中止させていただくこともございます。
- お支払いには、コンビニ振込みがご利用いただけます。(振込手数料別途)詳しくは、お申込み時にご確認ください。



※価格は、消費税・設備費を含んだ税込価格を表示しています。
※各講座とも、開催場所は近鉄文化サロン阿倍野です。